

施工説明書 **施工業者様用**

捨て張り工法用フローリング
コンビットストライプ® 75T

このたびはウッドワンの商品をお採用いただき、誠にありがとうございます。
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。
製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください

注意	<p>施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。</p>
禁止	<p>●屋内専用。 屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。</p> <p>●ピアノ・大型冷蔵庫等重量物の直置き禁止。 床材が破壊するおそれがありますので必ず補強対策をし、インシュレーター等を使用してください。</p> <p>●油性・水性ワックスの使用禁止。 油性・水性ワックスはすべりやすくなる為、当社推奨の樹脂ワックスを使用してください。</p>
注意	<p>●防塵対策を必ず行う。 施工・加工時に塵を吸い込むと、くしゃみや鼻水が出る場合がございます。作業する際には、マスクやメガネ等、防塵対策を必ず行って作業してください。</p> <p>●フロアコーティングは推奨していません。 推奨ワックスをご使用ください。 (フロアコーティングは、はがれ・床鳴り等の不具合を発生させることがあります。)</p>
必ずおこなう	<p>●床下換気口の設置。 湿気がこもると床材が腐朽する原因となります。</p> <p>●開梱後は換気を行なう。 本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。</p>
	<p>●床下収納庫天板への単独使用禁止。 接着剤・ビスで12mm以上の捨て張り合板を張り、総厚が15mm以上になるようにしてください。</p> <p>●根太上の直接施工の禁止。 直接根太上に施工すると強度不足のため床材が破損することがありますので、必ず根太上に厚さ12mm以上の合板を捨て張りしてください。</p>

1 施工の前に確認してください。

① 開梱

梱包を開いたら数量に不足及び損傷等の問題が無いかどうかを確認してください。
当製品は木質製品です。輸送中・施工中の水漏れは厳禁です。開梱後、製品に水漏れ等の不具合があった場合には必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。
また開梱後は速やかに施工してください。

② フロアの仮並べ

フロアの表面には天然木を使用しているため、色や木目・溝部分に多少の違いが出る場合があります。施工前に全部の梱包を開いて色合わせをしてください。極端な不具合などがありましたら、施工前にお買い求め店または弊社までお申し出ください。
施工後のお申し出には応じかねます。

③ 工具の準備

- 釘仕様
- 釘仕様

● 指定接着剤

メーカー	品番	接着剤タイプ
セメダイン(株)	フロアコン110L	変成シリコン樹脂系接着剤
ユニオン(株)	ボンドK928C-X	ウレタン樹脂系接着剤
ユニオン(株)	FK380	変成シリコン樹脂系接着剤
(株)オーカ	セリグイMS-330	変成シリコン樹脂系接着剤
(株)日本ケイ	アクアタイト	変成シリコン樹脂系接着剤
株式会社 床材	床材用接着剤455-S	変成シリコン樹脂系接着剤
アイカ工業(株)	JW-400NF/K/K4(床材用)	ウレタン樹脂系接着剤
	SE-770(樹脂)	変成シリコン樹脂系接着剤

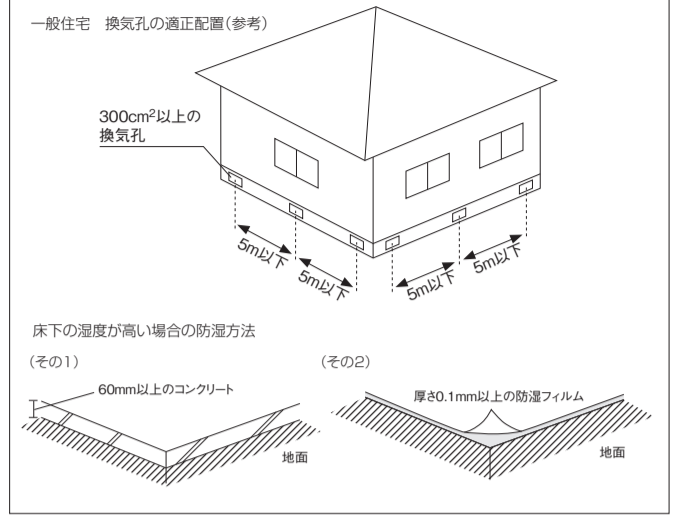
● その他推奨指定接着剤

※上記の接着剤からお選びください。
※設置時に系(白/赤)のドレイン系工法に適合する水性系接着剤は使用しないでください。

2 施工手順

① 下地の確認(施工)

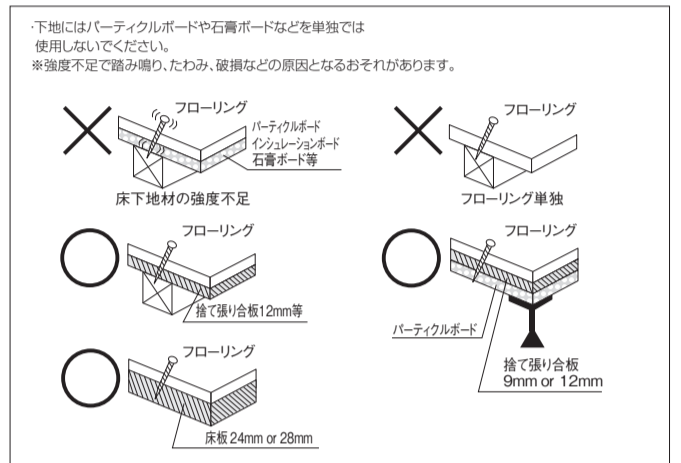
(1)十分な乾燥の後、施工する
捨て張り施工の場合や、RC構造などの床下が完全防水の場合、下地材・根太・床下等がひどく濡れた状態で施工すると、施工後の床材に伸びや膨れ・変色やカビの原因となるおそれがあります。床下地や床下が雨で濡れると乾燥するまでに時間を要します。屋根工事が終わるまではビニールシート等で濡れないように保護してください。



(2)防湿のために風通しをよくする
床下換気口の位置と数は建築基準法令に従ってください。
(外壁の床下部に壁長さ5m以下毎に、300cm²以上の換気孔設置)床下の湿度が特に高い場合は、地盤全面に厚さ60mm以上のコンクリートの打設、または厚さ0.1mm以上の防湿フィルムを全面に敷きつめる等の防湿処理をおこなってください。

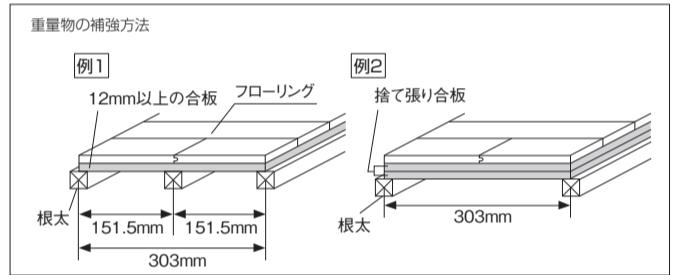
(3)捨て張り合板

捨て張り合板専用の床材ですので、直接根太上に施工すると強度不足のため破損することがあります。根太の上には下地合板として厚さ12mm以上、含水率14%以下のものを使用してください。
床下(コンクリート)等はコンクリート含水率計で含水率10%以下であることを確認し、施工をおこなってください。含水率が高いと接着不良やフローアの反り、突き上げ、変色、カビなどが発生するおそれがあります。根太と合板は接着剤・釘併用施工としてください。2mm程度継ぎ目をあけ、捨て張り合板の接合部の段差ができないように注意してください。



(4)重量物設置の場合の補強処理

重量物を設置する場合には根太間隔を151.5mmにする(例1)か、12mm以上の下地合板を2重に捨て張りして(例2)補強してください。



特に遵守して頂きたい施工上の注意事項

下記の施工方法を遵守しないと、踏み鳴り、隙間等の不具合が発生します。

接着剤の塗布方法

短辺・長辺 雄実下部への接着剤の塗布

接着剤カートリッジ ノズル4口タイプ使用時

塗布量:約200~220g/m² カートリッジタイプ(760ml/約1kg入り)1本で約1.3~1.5坪分の施工が可能です。

長辺オスザネ下部
先に施工したフローアのオスザネ下部に接着剤を塗布します。

短辺方向
接着剤を根太上に303mm間隔で塗布します。
※小根太付き温水マットの場合には、小根太上に303mm間隔で塗布。

短辺部 必ずフローア短辺の端に接着剤が付着するように塗布します。
接着剤の太さ約4mm/本が目安

接着剤塗布(4本) → フローア張り付け → 接着剤塗布(4本)

釘打ち

長辺方向は303mm間隔で釘打ちで固定

2ヶ所

303mm

長辺 7ヶ所固定

303mm 303mm 303mm 303mm 303mm 303mm

短辺 2ヶ所固定

釘打ち

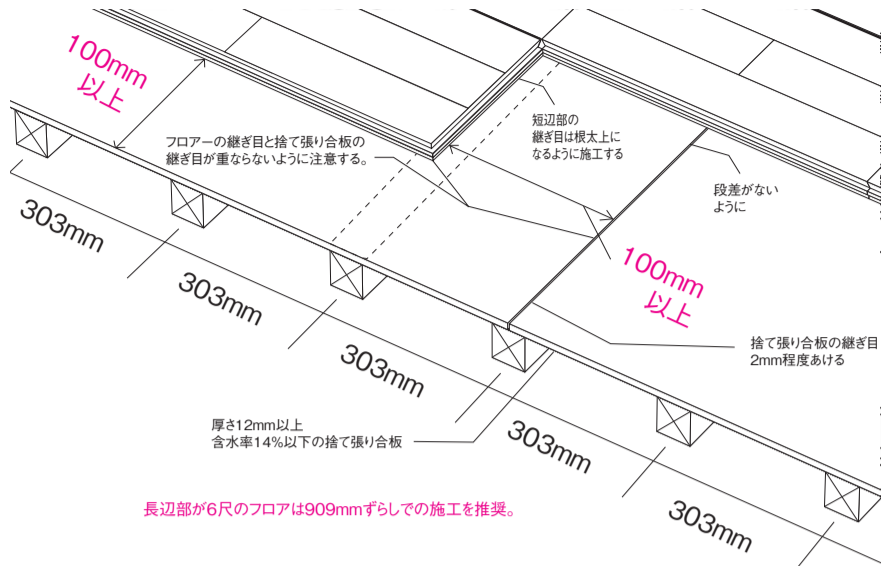
50~60°

釘仕様

- フロアネイル (長さ38mm以上)
- 接着剤付き フロア用ステープル (足長38mm以上)
- × フィニッシュネイル(針釘) ブラッドネイル(針釘)

② フロアの割り付け

- 捨て張り合板の継ぎ目とフロアは100mm以上離れるように割り付けしてください。
※継ぎ目が重なると目障りな原因となります。



③ 接着剤の塗布方法

接着剤カートリッジ ノズル4口タイプ使用時

短辺部 必ずフロア短辺の端に接着剤が付着するように塗布します。

接着剤の太さ約4mm/本が目安

接着剤塗布(4本) → フロア張り付け → 接着剤塗布(4本)

塗布量:約200~220g/m² カートリッジタイプ(760ml/約1kg入り)1本で約1.3~1.5坪分の施工が可能です。

短辺方向
接着剤を根太上に303mm間隔で塗布します。
※小根太付き温水マットの場合には、小根太上に303mm間隔で塗布。

長辺オスザネ下部
先に施工したフロアのオスザネ下部に接着剤を塗布します。

接着剤カートリッジ ノズル1口タイプ使用時

短辺部 必ずフロア短辺の端に接着剤が付着するように塗布します。

接着剤の太さ約6mm/本が目安

接着剤塗布(2本) → フロア張り付け → 接着剤塗布(2本)

塗布量:約200~220g/m² カートリッジタイプ(760ml/約1kg入り)1本で約1.3~1.5坪分の施工が可能です。

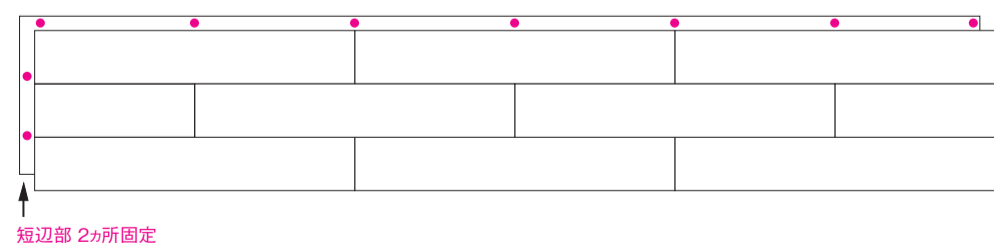
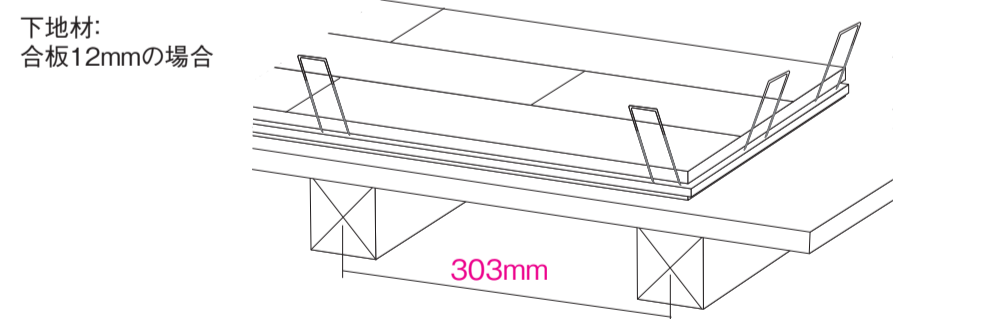
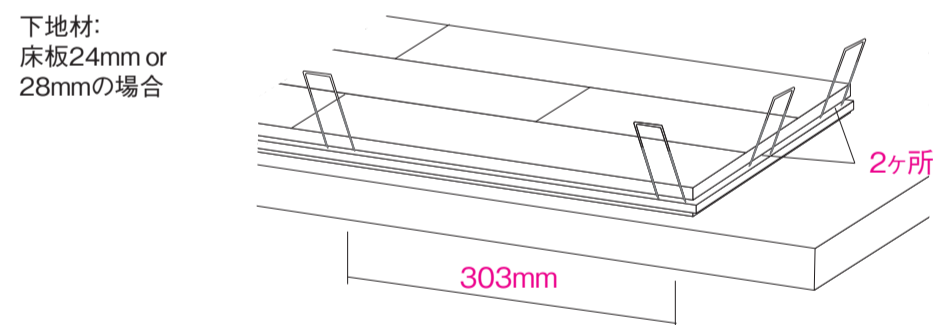
短辺方向
接着剤を根太上に303mm間隔で2本塗布します。
※小根太付き温水マットの場合には、小根太上に303mm間隔で塗布。

長辺オスザネ下部
先に施工したフロアのオスザネ下部に接着剤を塗布します。

- ▲ 注意**
- 接着剤がフロアの表面に付着した場合は、乾いた布や、シンナー・アルコールを染みこませた布ですばやく拭き取ってください。接着剤が硬化すると取れなくなります。また、水拭きだと接着剤が表面に残り、ムラや汚れの原因となるおそれがあります。
 - 接着剤のはみ出しが無いよう適量を塗布し製品表面に接着剤が付着した場合には速やかに布などで拭き取ってください。接着剤が硬化後は除去することができなくなります。

④ 釘打ち

- (1)1×6フロアの場合
フロアの長辺方向150mmピッチ、短辺方向(エンドマッチ部)2カ所、
弊社指定の接着剤付きフロア用ステーブルもしくは、フロアネイルを打ち込んでください。



▲ 注意

釘(接着剤付きフロア用ステーブルもしくはフロアネイル)打ち込み時、釘の頭がフロアにめり込まないよう適正なエア圧を設定してください。釘の頭がめり込んだ場合、適正な釘保持力が確保できません。

フロアネイル
または接着剤付きフロア用ステーブル

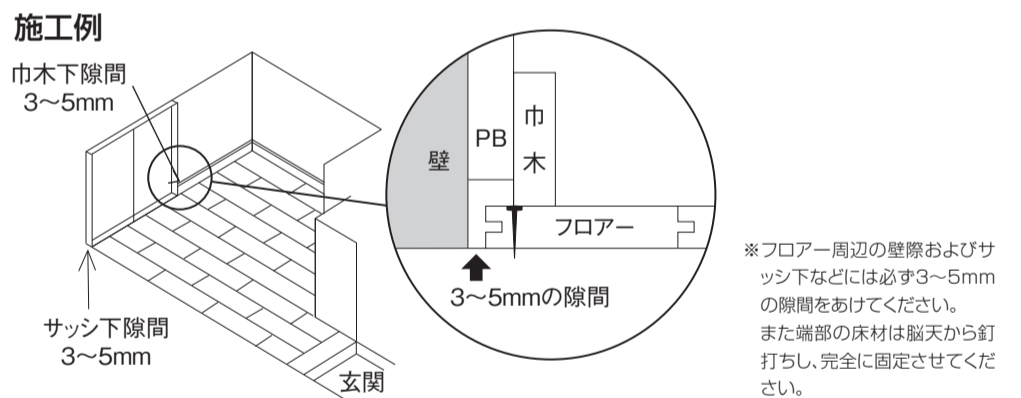
50~60°

それ以外の角度。

※釘打ち角度は50~60°で打ち込んでください。これ以外では釘頭が基材を持ち上げ膨れが発生してしまうおそれがありますので特に注意してください。

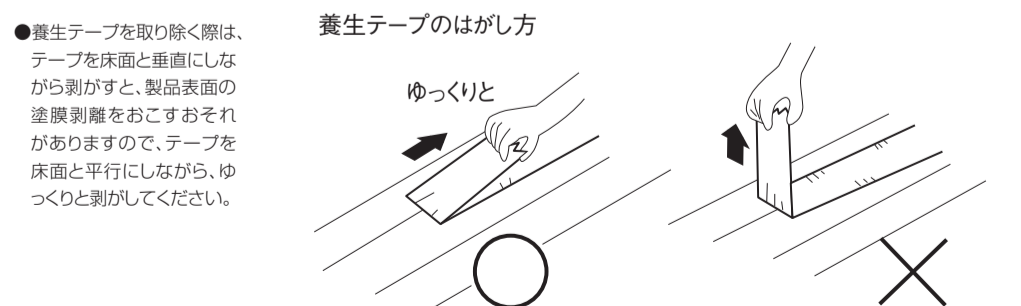
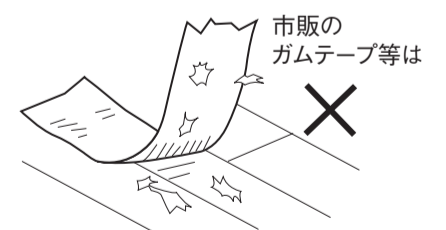
⑤ 壁際の納め

- 巾木の下で壁とフロアの間に必ず3~5mmの隙間をあけてください。
隙間がとれない場合、フロアが突き上がる恐れがあります。



⑥ 養生

- フロア施工後、接着剤が硬化するまではフロアが動かないよう適正に養生してください。(養生期間:1週間程度)
- 施工後は、木屑や砂、ごみをきれいに取り除いてダンボール、ベニヤまたは養生カバー等で隙間なくカバーしてください。
市販のガムテープや粘着力の強い養生テープをご使用になりますと、塗膜の剥がれの原因になりますので、別売の養生テープ(ZY0211)をご使用ください。なお、養生に使う段ボールや、ボードは濡れていないことを確認するとともに、濡れないような配慮をお願いします。



- ▲ 注意**
- 養生期間中、絶対に暖房機器の使用は避けてください。フロアのサネ接続部の隙間発生などの原因となるおそれがあります。